

Statistical Room



たけのこ

4月から5月にかけて、たけのこがおいしい季節となりました。国内で生産され、一般的な食用となっているたけのこの種類は主に「孟宗竹」で、江戸時代に中国からその株が入ってきたといわれています。

総務省の家計調査によると、京都市では、たけのこの1世帯当たりの年間支出金額は全国で1位、購入数量は10位と上位に位置しており、旅館や料亭だけでなく、一般家庭においても、たけのこが食文化として地域に根ざしていることがうかがえます。また、支出金額と購入数量の順位の開きから、グラムあたりの単価が高いものが購入されていると考えられます。

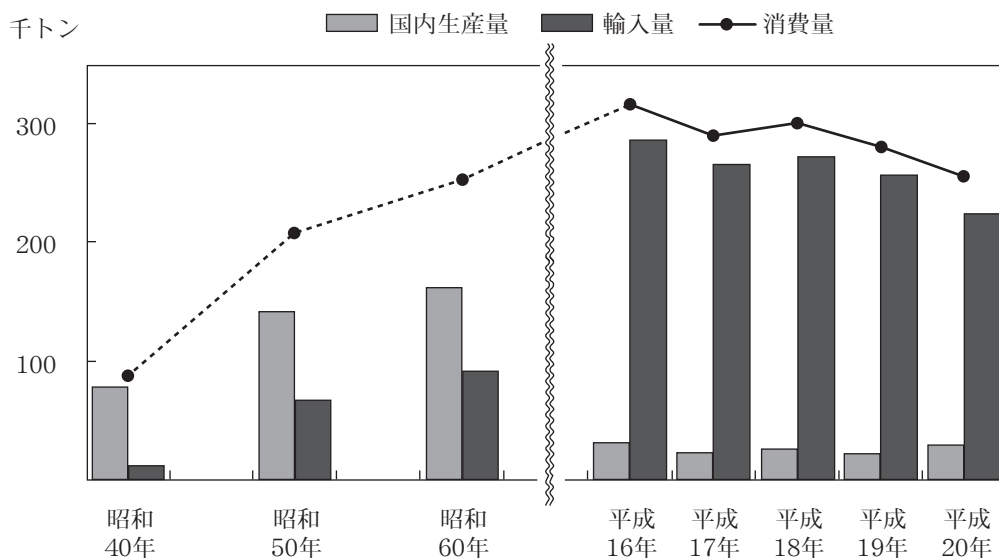
京都府では、水菜や九条ねぎといったブランド京野菜と並び、主に京都市西部から乙訓地域にかけて栽培されている「京たけのこ」を「京のブランド産品」として生産、出荷しています。

一方で、農林水産省の特用林産物需給動態調査から、全国におけるたけのこの生産や消費の動向をみると、ここ40年ほどの間に他の野菜や食料品と同様、輸入品の占める割合が大きくなっており、その多くが中国からの輸入によるものとなっています。平成19年に発覚した中国製冷凍餃子中毒事件の影響からか、ここ2年ほどその輸入量は減少しているものの、依然国内産とは大きな開きがみられます。

江戸時代に中国から伝えられた孟宗竹の子孫である「たけのこ」が、京料理など日本の食文化として根づいた結果、さらに中国からの輸入が増え、私たちの食卓に並んでいると思うと中国と京都の歴史的な深いつながりに感慨深いものがあります。

		金額：円	数量：g□	
1	京都市	1,635	新潟市	2,406
2	新潟市	1,619	富山市	2,125
3	富山市	1,497	山形市	2,079
4	山形市	1,475	高知市	1,903
5	金沢市	1,279	金沢市	1,868
6	奈良市	1,248	福島市	1,637
7	東京区部	1,153	福岡市	1,499
8	大阪市	1,152	静岡市	1,491
9	川崎市	1,129	松山市	1,478
10	横浜市	1,119	京都市	1,466

出典：平成19～21年平均の家計調査（総務省）品目別データ□
1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量（二人以上世帯）□



出典：特用林産物需給動態調査(農林水産省)